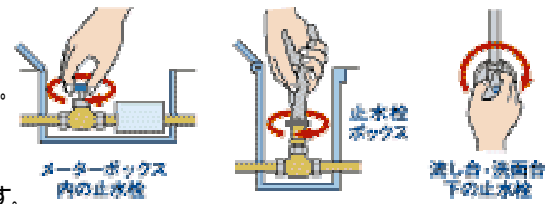


立水栓柱はしっかり取付ください。転倒する危険や水漏れの原因になりますので取扱いには十分ご注意ください。
又、給水管接続部が凍結深度以下になるよう設置埋設下さい。設置の際、表面に傷を付けないよう注意下さい。

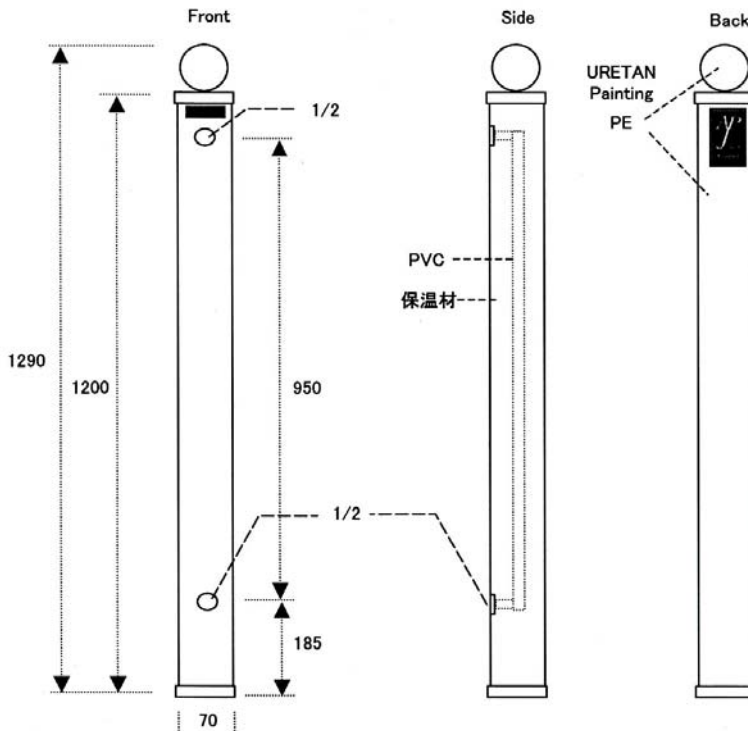
埋設する深さ

- ・本体下部の給水配管部分(管上)が凍結深度以下になるよう設置してください。
 - ・水抜きを確実にする為に
 - ・本体部分付近には、砂利・排水ブロック・浸透マスなどを用いてください。
 - ・地下の浸透性が悪い土質の際は、浸透性のよい所まで、導水パイプ等を設置ください。
 - ・固定コマ式蛇口又は、吸気弁付蛇口のいずれかを必ず用いてください。
- 洗管・作動の確認について
- ・本体埋め戻し前に器具(立水栓柱)を全開で通水し管内の洗浄を必ず行ってください。
 - ・止水栓を設置された場合は、止水栓を締めて水抜きが可能か点検確認をお願いします。
- 本器具からの分岐配管してのご使用は避けてください。
埋設が浅い場合は、別売りの支持金具等で固定してください。

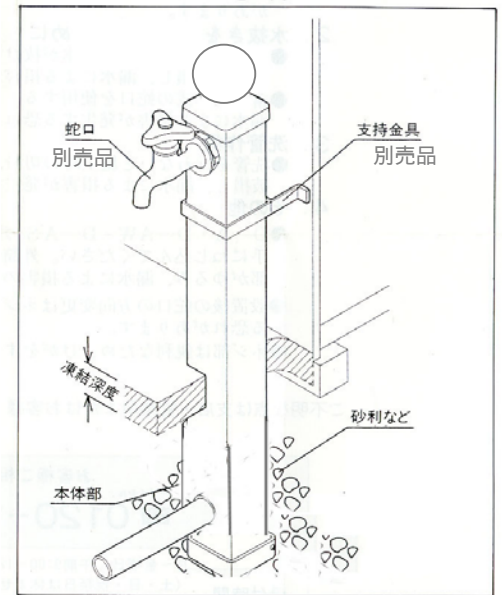


作業の前には必ず止水栓を閉めてください。
寒冷地に使用される場合は、上記止水栓を立水栓の給水管手前に取付けて使用ください。

Voss Jw water stand



Voss Water stand <施工例> Juraku Water stand



Sample Image

蛇口の取付や給水配管工事は水道法技術基準に従って、有資格者が行ってください。

*一般の方の工事は法律で禁止されております。

この器具は地中埋込配管用(簡易ホース可能)です。下記の使用環境、条件では使用しないでください。

- ・周囲温度が35℃以上の場所
 - ・振動・衝撃の激しい場所
 - ・水抜きの際ホースを外さない
 - ・寒冷地で止水栓を設けない場合
- 上記記載条件などのご使用の場合、漏水・凍結破損の原因となります。

寒冷地で使用の場合、立ち上がり配管内の水抜きが出来る止水バルブ取付を業者様にお願いします。

- (止水栓バルブの取付け箇所は水栓柱本体に流入接続される手前の配管で管理のし易い箇所に埋設設置下さい)
- (冬場水抜きをする際、蛇口からの空気の導入がないと水が抜けない為、止水バルブを閉めてから蛇口は全開に開けて下さい)

器具の設置は自治体の定められた、凍結深度以下埋込んで設置の上、ご使用ください。

(凍結深度は水道事業体により深度が異なります。寒冷地では20cm以上となります)

蛇口の取付は、給水装置の基準に従って確実に行ってください。(不完全は漏水の原因となります)

パッキン等付属やご使用の場合は消耗品ですので保守点検を施工店にご相談ください。

商品は自動車同様高級塗装の為、衝撃等で塗装面が剥れたり傷付く事が御座いますので取扱いには十分ご注意ください。

お客様ご相談窓口販売店名:

